

南国病院広報誌

第10号 2011年10月31日発行



つくし



日本医療機能評価機構認定病院
平成23年8月5日
審査体制区分2
Ver.6.0

■発行元■

南国市大涌甲 1479-3
医療法人つくし会 南国病院
TEL 088-864-3137
<http://www.nankoku-hp.or.jp>

職員の皆様へ

病院長 中澤 宏之



未曾有の大災害となった東日本大震災から半年が過ぎ、自治体や各医療機関において防災対策を早急に見直す必要性が指摘、認識され、これまでも医療機関における防災対策に関する講演会が各地で開催されてきました。従来の防災対策が「人命の安全」や「資産の保全」を目的としていたのに対し、これからは地域に根差した病院として「事業の継続」をも目的としなければなりません。この「事業継続計画」は、単に社会的な要請だけでなく医療機関としての存続をかけた取り組みであり、戦略的な課題として病院を挙げて取り組んでいきたいと思っています。具体的には、当院の防災・防犯委員会を12月より月1回定期的に開催し、これまでの防災対策マニュアルを見直し、来る南海大地震を見据えた当院独自の防災対策を築き上げたいと考えています。各職能団体や自治体が主催する防災に関する講演会には積極的に参加して頂き、当院の委員会での審議に活用し、皆様からのご意見を集約した実践的な対策が出来ることを期待していますので、ご協力の程よろしく申し上げます。

さて、去る8月上旬に日本医療機能評価機構より認定の通知を頂きました。初めての受審で補充的な審査を経ての認定であり、受審に際し共に苦勞して下さった職員の皆様には感慨も一入だったと思います。この場を借りて改めてお礼を申し上げます。審査において指摘された事項を振り返ってみると、改めて院内には気付かない、色んな意味で当院の特殊性を認識しました。「神経内科・精神科の専門病院として多職種が連携してきめの細かい診療を行う」という一種のブランドイメージを今後も前面に押し出していきたいと思っています。この受審は、特に当院のソフト面のレベルアップを図るために行いましたが、理事長からは、「今回の認定を受け、皆で新しい病院を作り上げたと思って、自信を持ってこれからも頑張ってもらいたい」とのコメントがありました。今後も継続して当院の質の向上が図れる様、皆様とともに努力していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医療法人つくし会

南国病院納涼祭

平成23年8月13日(土)
16:00~20:30



南国病院本館
駐車場にて



当院恒例の納涼祭を8月13日に行いました。職員一同『地域に根ざしたお祭り』をテーマに春先から病院を上げて取り組んできました結果、過去最大の来場者数を記録するなど大変盛り上がった納涼祭になりました。ご来場下さいました方々、ご出演・ご出店下さいました方々、本当にありがとうございました。この誌面を借りてお礼を述べさせていただきます。

平成23年度納涼祭責任者 中田浩

南国病院職員旅行

1班
9月21・22日

2班
10月11・12日



病院職員旅行に参加することで、他の部署の方と仲良くなれた事とても嬉しく思います。お世話係として皆さんの写真を少し撮りましたが、リラククスして楽しんでるのが伝わり、共に楽しい時間を共有できました。清々しい気候の中、日々の仕事から一時放れりフレッシュできました。こんな素敵な時間を作って頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

事務部 和田美佐子

十月十一日・十二日の日程で第二班の旅行に参加させていただきました。おかげさまで天気にも恵まれ、出石の風そばや沢庵和尚のお寺を散策したり、天橋立からの絶景も楽しむことができました。来年も職員旅行に参加させていただけよう気を改めて頑張りたいと思います。

リハビリテーション部 池上司

少なめの人数ながらも、盛り上げてくれる方々がいらっしやっただけで、楽しい旅になりました。日頃、私があまりお話できなかった方とも話ができて、貴重な時間もありました。天災や感染症流行などの特殊な社会的問題が無い限りは、毎年続けて欲しい行事です。

精神科部長 玉元徹

旅の初日は台風の大雨で、出石での散策が思うようにならず残念でしたが、宿では露天風呂も良く、料理は美味しく、お酒も記憶を失くす程飲めて幸せでした。とても楽しい二日間で、次回の旅行も楽しみにしています。

5病棟看護師 前田聡

私達一班は、台風を追いかけてゆく旅となりました。でも出石で頂いたお蕎麦がとても美味しく、夜も美味しい海の幸とビールをたっぷり味わい、思いつ切り楽しませて頂きました。引揚記念館では、戦争の悲惨さを目の当たりにして、胸のつまる思いを味わい……。雨の旅も、思い出です。でも、今度は晴れますように……と心は早くも、来年です！

5病棟看護師 廣瀬三江

当日は天気にも恵まれ、ガイドさんの案内の中にも笑いもあり、楽しく目的地向かいました。一日目の城下町出石の町並み自由散策では、有名な蕎麦を頂き二時間半ゆっくり買い物などが出来ました。その後、カバン工場では大好きなカバン・財布などを見て廻り購入しました。そしてホテルに着いた時には、ちょうど夕日が沈むところ、とてもきれいでした。更に食事も日本海ならではのカニも出て、とてもおいしく、宴会も盛り上がり楽しい時間を過ごす事が出来ました。二日目も天気に恵まれ、和風バイキングの朝食を頂いた後、天橋立に向かいました。龍が天に昇るように見えるところから、「飛龍観」とも呼ばれる景色も楽しむ事が出来ました。そして自由昼食を済ませ、舞鶴引揚記念館に行きました。そこでは、シベリア各地などの収容所で長い年月辛い悲しい生活の様子や抑留生活についての展示を見て涙が出る想いでした。最後に海鮮物のお店に寄ってもらい買い物をして、二十時前に帰り着きました。この二日間とても楽しく過ごす事が出来、また参加させて頂きたいと思いました。

3病棟助手 小松澄代

最初に到着したのは出石市でした。お蕎麦屋さんの多さにびっくりしました。大変暑かったので、一番にバスで休みましたが、バスの中は冷房が効かないので、また暑かったです。

ホテルに着く前にコンビニに行きたいとの事で……、コンビニに着くと前の和菓子屋さんの店員さんが、何事が起きたかのように飛び出て来ました。ガイドさんによると高知ナンバーの車を見ると飛び出て来るそうで、「高知の人は、お土産をいっぱい買う」そうです。

ホテルに着き、夕日がとてもきれいで元気をもらいました。ホテルの朝食のバイキングはとても沢山で美味しく頂きました。

最後に寄った舞鶴引揚記念館では、六十年あまり前の事だと言うけれど、大変苦勞された方々を写真で見て涙が出ました。私達は幸福な時代に生まれてありがたいです。

この旅行を提供して下さった南国病院そして後に残って仕事を頂いた皆様方には、本当にありがとうございます。天候にも恵まれ旅行が出来ました事、有難く思います。

保清 川田富喜子 小松トモ子

高知県看護協会主催『ふれあい看護体験』

平成23年8月3日(水)



土佐女子高校	3年生	2名	
高知県立岡豊高校	3年生	1名	
〃	〃	2年生	1名
〃	山田高校	2年生	1名
〃	城山高校	3年生	3名
計		8名(男子4名 女子4名)	

9:00~16:00
【午前】
オリエンテーション
写真撮影
院内見学
2病棟・3病棟で看護体験
【午後】
精神科作業療法体験
(料理)
観見交換



高知県下において本年度は、高校生 561 名・社会人 2 名の方が各施設の協力のもとで「ふれあい看護体験：高知県看護協会主催」が実施されました。当院でも H23 年 8 月 3 日(水)に各病棟のスタッフの協力のもと高校生 8 名(男子 4 名・女子 4 名)を受け入れ実施しました。「看護師になりたいから」「介護の仕事に就きたいから」「作業療法士になりたいから」等・・・参加動機はさまざまでしたが、白衣に身を包みワクワクした気分も味わって頂きながらの「ふれあい看護体験」のスタートでした。体験終了後の意見交換時には、「神経難病の患者さんと接し、パソコン操作に驚いた」「食事介助が思ったより難しかった」「精神科作業療法で患者さんと一緒に手打ちうどん作りに参加してとても楽しかった」等・・・多くの感想が聞かれました。学生さん達にとって有意義な時間となってくれた事を願い、私達スタッフにとっては看護のあり方を振り返る一日であったと感じます。昨今の少子化社会の中で、ひとりでも多くの子供達が看護職、また医療関係の仕事に就いてくれることを願いながら、来年度も協力体制で臨みたいと思っています。

看護部長 佐光真由美

平成23年

9月12~14日
3名

10月17~19日
4名

平成23年度神経難病医療従事者研修

研修生アンケートより

- ・ 難病患者様の現状を知り、患者様、その家族の声を直接聞く事ができ、自らの病院のケアの仕方や看護計画を見直す事ができました。呼吸器をしている方の入浴は正直驚きましたが、同時に職員同士のチームワークの良さも見習いたい部分でありました。
- ・ ALSの患者様がコミュニケーション手段のための各部の今後見えそうな筋力の維持に努めるリハビリの重要性を感じました。
- ・ ALSの患者様のジレンマや病状の変化を見せてくださり、とても有難かったです。多忙な業務の中でも、スタッフの方達がきちんと患者様に向き合い機能維持への関わりをチームで取り組んでいる事は、在宅療養の場でも大事にしていくべきだと感じました。今回の研修で、神経難病が身近となり学習するきっかけとなりました。元気だった時のその人らしさを保てるよう、患者中心、患者参加の医療、ケア、関わりを忘れてはいけないと心を新たにしました。他の研修の人達とも様々看護に対する思いを話す事ができ、これからの課題や元気に繋げていけるパワーをもらう事ができました。

研修内容	
一日目	ミニ講義(神経難病医療) 病棟オリエンテーション リハビリテーション見学 食事介助・吸引手技・コミュニケーション カニューレ交換・PEG交換 VF見学
二日目	OT訓練見学 食事準備・簡易嚥下法 ミニ講義(神経難病医療) カニューレ交換・回路交換 伝の心でのコミュニケーション 吸引手技・コミュニケーション
三日目	人工呼吸器装着患者等 神経難病患者の訪問看護実習 入浴・入浴後処置・レスピレーター説明 研修総括

2病棟研修担当者

今回の医療従事者研修を通し、難病について再学習し、又先生方の講義を含め自分達も知らなかった事を学べて良かったと思います。今回、訪問看護師さんが沢山来てくれていたのですが、その方達との話し合いの中で、難病患者様、その家族に対する関わり方の難しさを改めて実感しました。研修中には、リハビリスタッフの協力でALS患者様のコミュニケーション方法として、「伝の心」や南国病院で使用している機器の説明をして頂き、皆様驚かされていました。自分も初めて目にする機械もあり、勉強になりました。日頃仕事に追われる事が多いのですが、今回患者様のリハビリ訓練についても一緒に見学し、どのような訓練をしているのかスタッフの説明を受けながら、自分達も学ぶ事が出来ました。研修中、多職種の方々にも指導して頂き、沢山のスタッフにお世話になりました。自分達も、再学習することがあり、学ぶ事が多い研修でした。

3病棟研修担当者

3病棟では、食事や入浴の介助、マウスケア、リハビリ見学、回路やカニューレ交換等を研修生と一緒に行いました。毎日あまり変化のない病棟と思っていましたが、研修生がいろいろなケアに積極的に関わってくれたり、患者様に声掛けをしてくれて、「昨日と違う表情をしていますね。」等と言われた事もありました。研修生と、情報交換や意見交換をしながらケアをする事により、改めて気付いた点があり、勉強になった事も多くありました。これからの看護やケアに反映させたいと思います。



外来患者満足度調査の結果報告

平成23年8月

清掃に関して、
不満は0%

※22年度
※21年度
○20年度

今後のより良い病院運営の参考にさせて頂き、患者さんに対するサービス等の充実に努めることを目的として、外来で受診された患者さんに満足度調査を実施しました。

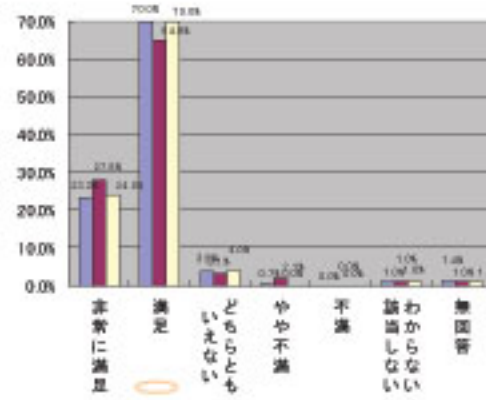
前回は行った22年度の調査と比較して、総体的に大きな変化は見られませんでした。薬ができるまでの待ち時間については、満足が37%、不満が35%（前回は満足50%、不満25%）との回答で、不満に思われる患者さんが増えており、改善に努めていく必要があります。

患者さんからのご意見では、「駐車場が出難い、いっぱいの時がある」「トイレの案内表示が少し分かりにくい」「LED蛍光灯にしたら、もっと良い」「もう少し早く、あまり待たせないようにしていただければ、100点だと思います」などのご意見をいただきました。良い点では、「受診時に必要な情報はきれいに掲示されているように思います」などの評価をいただきました。

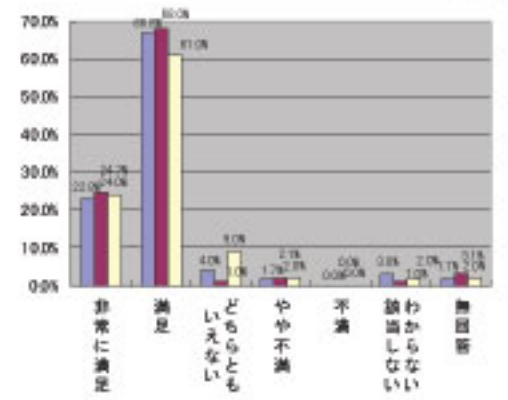
やはり、駐車場や診察、薬ができるまでの待ち時間に対して不満に思われている患者さんがまだまだ多いので、早急に原因分析を行い、職員一丸となって改善していきたいと思っております。

業務改善委員会

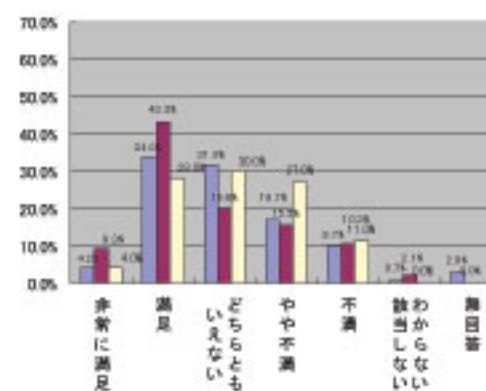
院内の清掃は行きとどいていましたか？



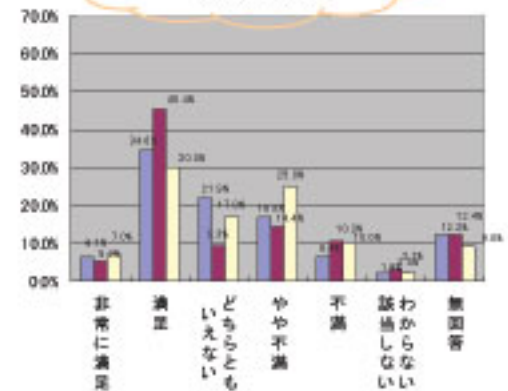
トイレは清潔で使いやすいですか？



診察までの待ち時間はいかがでしたか？



薬ができるまでの待ち時間はいかがでしたか？



スピリットアート 高知県立美術館

平成23年
10月7~16日
(金~日)

高知県立美術館においてスピリットアート展が開催されました。この作品展は、障害のある人の文化活動を促進すると共に、障害のある人への県民の理解を深める事を目的として県主催により毎年開催されており、

当院からは
デイケア、身障OT、精神OTと
3部署から個人・集団の力作を出展し、
数点が入選する事が出来ました。

入選しなかった力作もありましたが、入院・通院されている方々が毎日の楽しみとして、または自身のリハビリを兼ねて、少しずつ目標を持って作品を作り上げて行くその過程こそが大切な事だと思います。

いくつかの作品は院内に展示してありますので、是非ご覧になって下さい。



山田のかかしコンテスト

平成23年
10月15~31日
(土~月)



～季節を感じるイベント～

3病棟お誕生会

頬にあたる風が、少しずつ冷たさを感じる季節となりました。こんな時期はやけに淋しさが身にしみて、ロマンチストになるところですが・・・。

3病棟は、元気いっぱいです。

9月・10月生まれの誕生会では、院長先生を先頭に味のりでお歯黒にして、ヒットソング

“麦畑”での“お米～すダンス”では、患者様はもとよりスタッフや他部署の皆さんも大盛り上がりでした。それに加え研修で来られていた方々も積極的に参加してくださり、より楽しんでいただけた誕生会となりました。

回を重ねる度に、PTさん、OTさん、STさん、MEさん、2病棟さんの協力や応援の輪が広がって、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回は多忙な中を出席してくださった看護部長さんに急な中継ぎをお頼みして、ご迷惑を掛けました。

これからも3病棟は、

“継続は力なり”

の言葉通り頑張ってまいります。

ご協力、本当にありがとうございます。



平成23年度高知県精神科病院協会主催 第28回 病院対抗ソフトボール大会



10月28日(金)
高知県立
春野総合運動公園
12名参加



今年で精神科病院対抗職員ソフトボール大会も第28回を迎えるとともに、参加職員も年を重ね、高齢化しつつありましたが、新たに若い職員が加わり、挑むことになりました。

9月下旬から練習を始め、頭と体の反応に違和感を感じつつも、そこは運動神経の優れた職員の面々であり、短時間にて修正。仕事が忙しい中、多くの職員が練習に参加し、また、他病院との練習試合にて感覚を取り戻しつつ大会に向け体を仕上げていきました。さて、試合の結果ですが、

第1試合の聖ヶ丘病院には僅差で勝利。

若い職員の機動力、熟練職員の安定した守備・攻撃にチーム内の明るい雰囲気加わったことが勝因でした。

試合中も常に笑い声があり舌好調の勢いで第3試合に挑みました。

第3試合は土佐病院に惜しくも逆転負けしてしまいました。

前半は大きくリードし勢いに衰えはなく快調でしたが、

急に審判のストライクゾーン判定が厳しくなり!?

相手チームもそれを読み取り、むやみにバットを振らなくなったことで流れが変わったのです。

負けてもチーム内は笑い・笑顔があり、まるで勝利後の雰囲気でした。

今年は決勝リーグにいけるのではないかと各選手が思うほどの勢いがあり、応援に来てくださった方も観ている楽しめる内容の試合でした。

ただ、第3試合終了後の選手は疲労困憊であり、

もし、決勝に行けても試合は・・・です。

1勝できたことは大きな喜びであり、来年は期待大です。

多くの部署から職員が参加し、練習から大会までを通し、大きな怪我もなく、無事終わることができました。

この場をかりてサポートしてくださった関係者の方々にお礼を申し上げます。
ありがとうございました。

テイクア 精神保健福祉士 竹村哲也



病院の理念

1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。
2. 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。
3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。

基本方針

1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。
2. 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。
3. 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。
4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。
5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人々への奉仕者としての自覚を持ちます。

平成 22 年 4 月 1 日改訂

当院は患者さんの信頼に基づく適切な医療を行うために患者さんの基本的な権利を尊重します。

患者さんの権利

1. 患者さんが適切な医療を平等に受ける権利
患者さんは差別されることなく平等に、当院で達成可能な医療を受ける権利があります。
2. 患者さんの人格、価値観が常に尊重される権利
患者さんはひとりの人間として、その人格、価値観などが尊重されます。
3. 患者さんが医師等から十分な説明を受け、自らの意志で医療行為を選択・決定する権利
患者さんは、医療の内容、治療・検査などの効果・危険性、他の治療法などについて説明を受け、医療の内容を十分理解し、同意した上で、適切な医療を選択し、受ける権利があります。同意できない場合は、医療を受けることを拒否することもできます。また、主治医だけの意見ではなく、第三者である医師の意見も聞いて判断したいと思われる場合には、自由にセカンドオピニオンを求める権利があります。
4. 患者さんがご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利
患者さんは、当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
5. 患者さんの個人情報、プライバシーが保障される権利
患者さんは、病院内での生活を、可能な限り、他人に侵害されない権利があります。また、医療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳守され、患者さんの承諾なしには開示されない権利があります。

患者さんへのお願い

患者さんには、私たちが、安全かつ適切な医療の提供を行うために、次のことをお願いいたします。

1. ご自身の体調に関する情報を正しくお伝え下さい。
2. 医療に関するご希望を率直にお伝え下さい。
3. 検査や治療などの医療行為は十分なご理解と合意の上でお受け下さい。
4. 療養上必要な制約を受けることをご理解下さい。
5. 他の患者さんの治療や職員の業務に支障をきたさないようご協力下さい。

診療のご案内

診療科目	神経内科 精神科 消化器内科 内科 リハビリテーション科 放射線科
診療時間	月～金 午前 8:30～12:30 午後 1:30～5:00 土 午前 8:30～12:30
休日診療	なし 但し急患は診療いたします
面会時間	午前 9:00 ～ 午後 9:00
予約診療	全ての診療科において予約診療を行っております
救急指定	なし
健康診断・人間ドック	あり 脳神経検診、消化器検診

11月9日からの診療予定

			月	火	水	木	金	土
午前	神経内科	1 診	吉村	院長	吉村	吉村	院長	院長
	精神科	2 診	玉元	森田	玉元	玉元		森田
	消化器内科 内科	3 診	川村	川村		川村	川村	川村 ※1
午後	精神科	2 診	森田	玉元			森田	
	消化器内科 内科	3 診	川村 ※2	麻植 (淳)		麻植 (淳)	麻植 (啓)	

※1. 川村医師の土曜日の診察は第2, 第4土曜日のみです。

※2. 診察時間は 15:00～17:00 までです。

平成 23 年度 7～9 月

外来患者数	5,754 名
(内 新 患 数)	228 名
1日平均入院患者数	152 名
精神科デイケア利用者総数	1,284 名
通所リハビリテーション利用者総数	846 名
訪問看護ステーションおおそね訪問件数	509 件

■認定・指定

日本神経学会教育関連施設
日本静脈経腸栄養学会
NST 稼働施設
高知県神経難病医療
ネットワーク基幹協力病院

■病床数

病床数 162 床
特殊疾患病棟(I) 46 床
医療療養病棟 56 床
精神療養病棟 60 床

